

関東のいずもさん社報

むすひ

夏の風物詩 夏詣

降りしきる蝉の声に夏の盛り、夏詣のご参拝をおすすめします。

大晦日に「年越」の大祓をするように、新年から半年後の六月末に「夏越」の大祓を経て、過ぎた半年の罪穢れを祓い、無事を感じるとともにこれから半年のさらなる平安を願うべく夏に神社に詣でる。この新しい習慣が「夏詣」なつもうでです。

七月一日〜八月三十一日の二か月間、湧き出る名水に因んだ企画を用意して、下記の通り夏詣を実施します。

令和六年節分祭 豪快な豆まき披露

横綱照ノ富士(幕内優勝)・尊富士(十両優勝)ら参列



令和6年2月3日出雲大社相模分祠境内にて節分祭豆まき神事を斎行。コロナ禍により中止が続いていたが約4年ぶりの開催となる。節分祭に横綱照ノ富士・熱海富士関・尊富士関はじめ伊勢ヶ濱部屋有力力士が参列、参加者3000人以上、豪快な豆まきを披露。(詳細4面)

【夏詣期間中の行事】

(★は常設 ●は期間のみ)

- ★夏詣限定御朱印
 - ★茅の輪くぐり
 - ★秦野名水のお水取り
 - ★水みくじ
 - ★湧水ミストシャワー
 - ★ストリートピアノ
 - 第三回出雲大社相模分祠写真コンテスト展示会
 - 「ほおずき市」
 - 居合演武奉納など
 - 月遅れお盆参り
- 八月十三日〜十六日



夏詣限定御朱印

「秦野名水」と「湧水ミストシャワー」で「涼」を呼ぶ

当分祠西側「千年の杜」では慶長十四年より「ゆずりの水」が湧き出し、生命力に満ちた緑あふれる「鎮守の森」が守り伝えられております。丹沢の山々に囲まれた秦野。秦野盆地の地下は天然の水がめとも呼ばれ、丹沢山系に降った雨が長い年月をかけて地下水となり、市内各地でわき出ており、秦野盆地湧水群として昭和六十年に環境省の名水百選に選定されました。また、平成二十八年に環境省が行った「名水百選」選抜総選挙の「おいしさがすばらしい名水部門」において、「秦野名水」は全国一位を受賞しました。

地下五十メートルより汲み上げられたこの湧水は、大変清らかで柔らかな口当たりを受賞しました。

秋は風情豊かに

秋の菊花展・菊づくりの準備が始まりました。秋の境内は、当分祠開催の菊づくり教室の作品展示他、数百鉢の菊飾り・紅葉などによって色鮮やかに彩られます。



令和6年6月

発行

出雲大社相模分祠
神奈川県秦野市平沢 1221
TEL: 0463-81-1122
メール info@izumosan.com

編集兼発行人
副分祠長 草山和泉
季刊毎年2回発行
https://www.izumosan.com/

南はだの村 桜まつり盛況に開催

境内の中心にある桜の木は、高さ二十餘にもおよぶ巨大なソメイヨシノ。令和五年公募により愛称「良縁桜」と命名。今年も美しい桜の開花に人々の心を和ませた。例年、開花は三月下旬から始まり四月上旬頃が見ごろ。本年は例年より遅い開花でした。

桜まつり限定御朱印、秦野名水仕込みの甘酒、和菓子や串団子・夜桜ライトアップなど様々な催しで参拝者をもてなします。

また、同時期、当分祠のすぐ近くに位置する、神奈川県で一番長い日本有数の桜並木「はだの桜みち」で、全長六、合計七〇〇本の咲き乱れる桜の様子もお楽しみ。

さらに、四月十三・十四日には、満開の桜の木の下、よさこいを奉納する「第二回よさこい縁まつり」も盛況に開催された。



菊花展も開催

ます。七五三はじめ秋の記念写真撮影スポットも好評。期間：令和六年十月下旬〜十一月下旬 予定



夜桜ライトアップ



命名 良縁桜

- 優勝 燦(SUN) (東京)
- 準優勝 疾風乱舞(平塚)
- 第3位 躍動(相模原)
- 出雲大社相模分祠特別賞 なかよし座
- ジャパンニユーアルファ テームズ特別賞
- dancecompany REIKA 組 (東京)
- ジエイコム湘南神奈川西湘局局長特別賞 武蔵國よさこい連一心(東京)
- 秦野市長賞 関東学院大学「誇咲」(横浜)
- 南はだの村七福神と鶴亀めぐり特別賞 倭奏 (北海道)



《令和六年神事行事予定》

六月上旬
出雲大社教団大祭
(島根県 おくにがえり
六月二十三日・三十日
七月七日

夏越の大祓茅の輪くぐり
七月一日〜八月末頃
夏詣(なつもうで)
七月十三日・十四日
ほおずき市
七月十三日〜十六日
(新暦お盆参り)

祖霊社みたままつり
八月十三日〜十六日
(旧暦お盆参り)

祖霊社みたままつり
九月九日

出雲大社相模分祠例祭
九月二十二日 秋分の日
秋季祖霊大祭(祖霊社)
旧暦十月十日〜七日
(新暦十一月十日〜十七日
神迎祭・神在祭
(出雲大社島根県)

十一月 七五三・菊花展
十二月三十日 年越の大祓

《令和七年》
元日(一月一日)〜節分
初詣・ダイコク市・提灯
ぼんぼりライトアップ (境内)

二月二日
節分祭 豆まき神事
二月三日(立春)〜下旬
梅まつり

二月十一日 紀元祭
二月十七日 祈年祭
二月二十三日
天長祭(天皇誕生日)
三月二十日 春分の日
春季祖霊祭(祖霊社)
四月上旬
南はだの村桜まつり

《月毎の祭典》
毎月一日 十時三十分
出雲大社相模分祠月次祭
(参列自由・予約不要)

毎月第一日曜日十五時
祖霊社・月次祭
(みたままつり)
(参列自由・予約不要)
永代供養相談会(随時)



◎衣裳選び放題組み合わせ自由和装・洋装の中から選べる
◎フォト撮り放題撮影時間はたっぷり60分！
撮影カット数の上限なし

縁結びの聖地
出雲大社相模分祠

フォトウェディング
180,000円
(税込198,000円)

プランに含まれるもの

- ・新郎衣裳1点
- ・新郎着付
- ・撮影データ (USB)・境内ロケーション撮影60分
- ・新婦衣裳2点
- ・新婦着付・ヘアメイク

プラン資料請求
見学予約は
こちら



◆七五三衣裳 / 予約展示会
7月13日(土)・14日(日)
15日(祝)
9月7日(土)・8日(日)

◆成人式衣裳 / 予約展示会
7月20日(土)・21日(日)

展示時間
AM9:00 ~ PM4:00

電話予約可:0463(84)1122



豊富な経験を積んだ衣裳スタッフとお気に入りのお着物を探して下さい。満足できるまで何度でも試着できるので安心です。

境内ロケーション写真 思い出スナツプ

当分祠に隣接されるレンガの建物「出雲記念館」の写真スタジオは四十年以上の実績があります。お宮参り、入学式、卒業式、結婚式、七五三、成人式など人生の節目に皆様の思い出が素晴らしいものとなります。素晴らしいものとなりますよう、神社専属のプロカメラマンが撮影。最高の状態で製作します。

【思い出スナツプ】
土日祝 二四二〇〇円
平日 一九八〇〇円
五〇カット以上〜写真データ納品。プリントアルバム別注可。ご家族様も一緒に思い出写真を残せませう。
※お子様の体調不良や雨天時など撮影日の延期やキャンセルは無料対応。

出雲記念館 七五三・成人式 展示会



出雲大社相模分祠では、古くより神道による供養、祖霊祭祀を啓発している。出雲大社のご祭神「ダイコク様」は縁結だけでなく幽冥主宰大神として死後の世界を司る神様として伝承される。

当分祠の傍らに鎮座する祖霊社は、日本人のご先祖様の御霊をお祀りし、大神様の御傍で供養するものである。

ご参拝のお手伝い

出雲大社相模分祠の境内に隣接するレンガの建物「出雲記念館」。昭和五十六年に施工され、参集殿・祈禱待合の他、結婚式場・記念写真・衣裳着付・会食など受付。七五三詣やお宮参りの衣裳・記念写真などたくさん参拝者で賑わう。

館内には、簡易型授乳室が設置され、お子様連れも歓迎。AEDも設置され不測の事態にも備える。

館内には、お土産の販売もしており、ご参拝の思い出に出雲そばや島根県出雲地方の土産品、ご神酒「八千矛」や当社謹製のお菓子なども取り扱っている。

皆様の御参拝の思い出作りをお手伝い致します。

納骨堂のご利用法

当社の信徒・崇敬者の方などなたでもご利用頂けます。他の宗教でも、新たに神式に改めご利用可能です。納骨堂にご遺骨を安置して、鎮魂・ご供養致します。弔い上げの際には、秦野市渋沢丘陵にある神道墓地に永代供養し、里山自然に還ります。後継者の、のちの管理や不安・問題も解消できます。たくさんの方々の祈りを集める祖霊社で安心の供養ができます。普段よりお参りに来られる神社で、初詣・季節のお参りの折にご一緒にお参りすることができると安心です。「お問い合わせは出雲大社相模分祠まで。ご予約で相談会を実施。供養や墓じまいなどサポートします。」

アクセス 秦野駅 副駅名看板

当分祠最寄りの小田急線秦野駅に「出雲大社相模分祠最寄駅」と副駅名が名付けられております。年間数十万人の参拝者数ともなる当分祠。より多くの方に知ってもらいたいと副駅名看板が設置されました。出雲大社相模分祠は「関東のいずもさん」の愛称でお宮参りや七五三、初詣など神道文化の発信地として歩んできました。御参拝・年中行事の賑わいを通じてより多くの地域の皆様に寄り添い地域の発展に貢献します。

◆小田急線「秦野駅」から当分祠まで約1.8km。徒歩二十五分。

◆タクシーで約千円。

祖霊社の神事

神葬祭・五十日祭(法要)・一年祭・水子供養・お盆・お彼岸供養・埋葬・永代供養・墓じまい等。神事後の直会(会食)も隣接する出雲記念館で出来ます。

祖霊社で斎行すること御自宅、霊園への出張祭典も可能です。ご相談お問合せは出雲大社相模分祠まで(要予約)

みたままつりのご案内
祖霊社にて、毎月第一日曜日午後三時より合同のみたままつりを斎行しております(参加無料)。神楽をあげて祭詞を奏上する中、御参列の方のご先祖様・愛する故人の御名前を一人ずつお読み上げて丁寧な供養致します。

◆秦野駅北口5番乗り場 神奈中バス《保健福祉センター前》下車徒歩三分(運賃三〇〇円)。

◆境内無料駐車場一三〇台有り。



納骨堂・神道墓地
永代供養料
三十三万円

◆永代供養相談会実施

お墓のご相談は事前申し込みの上、納骨堂・神道墓地のご案内の上、お見積りをご用意します。
※ご葬儀後のお申込み・生前申込・墓じまいなど

◆神式のお葬式「案内

神道でのお葬式を「神葬祭」といいます。当分祠は相模の国を基盤とした出雲大社の直接の分祠であり、確かな伝統と故実を踏襲した厳粛な神葬祭を御奉仕し、故人の御霊を鎮め、心静かにご供養申しあげます。
「祭祀料二十万円」
「別途交通費一日一万円」
※急なお申込みも対応可能です。直接お電話下さい。
※葬儀社のご紹介の場合はそちらの規定に従います。

※神道のお葬式では、生前のお名前をおくり名としておりますので戒名料等の費用はございません。
※出雲神楽を奏で、「やまとことば」で分かりやすく親しみやすい神事です。

夏越の大祓のご案内

茅の輪くぐりの神事

六月の晦日、恒例の夏越の大祓（おおほらえ）並びに茅の輪くぐりの神事を齋行します。

齋行日

六月二十三日（日） 午後三時
三十日（日） 午後六時

七月 七日（日） 午後四時

予約不要。どなたでも自由に参加できます。

玉串料 三〇〇〇円

授与品 茅の輪飾り
撤下饌

古来我々の先祖は、毎年六月晦日と年末の「大祓」によって心身を清浄にし、新しい半年の幸せを祈願しました。「層の「幸せ」の縁をお授かりになりますようご案内申し上げます。



夏越の大祓とは

大祓神事の歴史は古く、大祓詞（中臣祓）は平安時代の法律書「延喜式」（九二七年）に記載され、古代豪族の中臣氏が司る宮中行事でもありました。人が生きる上で知らず知らずのうちに犯した罪や穢れを取り除き、災厄を避け心身を清らかにすることを目的とした神事です。毎年六月の晦日、十二月の晦日の年二回行い、半年ごとの罪穢れをお祓いします。わ



茅の輪くぐりは夏詣期間中6月～8月末ごろまで設置

なんで茅の輪をくぐるの？

その答えは出雲神話（備後国風土記）に伝えられており、ヤマタノオロチを倒した素盞鳴尊（スサノオノミコト）が、旅をしている途中、蘇民将来（ソミンシヨウライ）、巨旦将来（コタンシヨウライ）という兄弟のところで宿を求めたところ、弟の巨旦将来は裕福であったにも関わらず宿泊を拒んだのに対し、兄の蘇民将来は貧しいながらも喜んで厚く饗しました。その数年後、再び蘇民将来のもとを訪ねた素盞鳴尊は「もし悪い病気が流行ることがあった時には、茅で輪を作り腰につければ病気がかからない」と教えられました。

そして疫病が流行したときに巨旦将来の家族は病に倒れましたが、蘇民将来とその家族は茅の輪で助かったというのです。

この言い伝えから「蘇民将来」と書いた紙を門に貼るといふ信仰が生まれ、茅の輪も当初は伝説のとおり小さなものを腰に付けるというものでしたが、江戸時代初期になり、大きな茅の輪をくぐって罪や災いと取り除くという神事になったと言われております。身近な場所や玄関先や神棚にお飾り下さい。

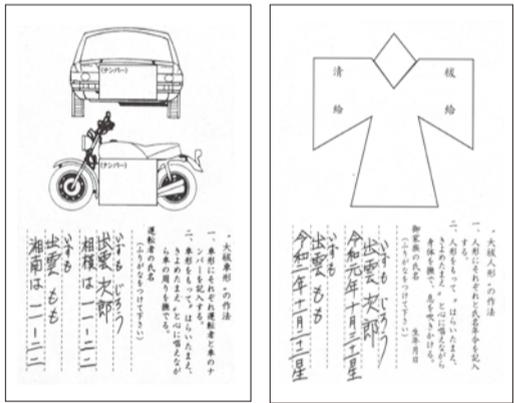


人形・車形の使い方

古くより祓や祓をする時に人間の身代わりとして人形を用いてきました。当分祠では夏越の大祓の際に、人形（ひとがた・車形（くるまがた）を形代（かたしろ）にして自らの罪穢れを移しお祓いします。人形の紙に氏名を記入し、息を三回吹きかけ、頭から全身気になる場所を撫でこすり、悪い気を取り移してお祓いします。

【当日不参加の方】ご参列できない方は事前にお預かりの上授与品をお渡しします。人形・車形・玉串料を封筒に入れてご持参ください。【郵送される場合】ご参列叶わない方は郵便振込にて御祈願料を添えてご送金下さい。後日記念の縁起物を発送します。

車形に氏名・ナンバーを記入し同様に乗用車、バイク、自転車などの四方を撫でこすって罪穢れをお祓いし、当分祠にお納め下さい。大祓神事の際、身代わりとしてお清めし、後ほど忌火をもつてお焚き上げします。（人形・車形は授与所にもご用意しております）



能登半島 震災義援金報告

令和六年一月一日に発生した能登地方を震源とする地震で被災された方々に対して、心よりお見舞い申し上げます。

一月六日より当分祠境内にて能登半島地震義援金箱を設置致しまして、被災地支援の為募金活動を開始しました。皆様のおかげをもちまして、累計金額が133万4927円となり、五月八日付で被災地域である能登国一之宮・氣多大社へ送金したことをご報告いたします。

皆様より多くのご支援をいただきました事を篤く御礼申し上げます。



能登国一之宮氣多大社

能登半島の付け根、羽咋市に鎮座する。御祭神の大己貴命は出雲から舟で能登に入り、国土を開拓したのち守護神としてこの地に鎮まったとされる。古くから北陸の大社として知られる。現在は本殿など五棟の社殿が国の重要文化財に指定されているほか、国の天然記念物でもある社叢「入らずの森」が有名。今回の震災により、耐震構造になっていない国指定重要文化財の御本殿、能登守護山山氏造営の若宮神社、白山神社の三棟が少なからず損傷を受け耐震補強を計画とのこと。

七五三詣のご案内



七五三のお祝いとは、子どもたちに元気に育つてほしいとお祈りし三歳、五歳、七歳と成長する様をお祝いする儀式です。

七五三とは三歳の男女の「髪置き」、五歳男子の「袴着（はかまぎ）」、七歳女子の「帯解き」のお祝いを指し、三歳・五歳・七歳の三つの祝い事をまとめて「七五三」と呼びます。

◆御祈願料 一万円・七千円・五千円
お子様の授与品として福袋（おもちゃ入り）・御守・千歳飴を授与。

◆祈禱受付時間 八時四十分～十六時三十分
（事前の予約は不要（混雑時を除き人数制限なし・おじいちゃんおばあちゃんも昇殿可）

◆耳寄り情報 十月より境内に期間限定で《七五三限定記念写真スポット》《祝い太鼓》を設営します。（無料）

※出雲記念館にて着付け・記念写真など絶賛受付中

※土日祝日は九時・九時半・十時・十六時半と三十分毎を目安に御祈願を齋行します。ご家族様お揃いの上受付をお済ませ下さい。
※平日は随時お申込みの順にて齋行します。十・三十分程度の待ち時間になります。
※混雑時は上記の限りではありません。また時間ごとに最大二十四組と一緒に御祈禱を齋行します。※お付添いのご家族・おじいちゃん・おばあちゃんも一緒に昇殿する事が出来ませんが、七五三詣はお子様主役ですので土日大安の混雑時には保護者様以外はお席の確保ができない場合もあります。混雑情報は公式サイトで予め情報ができますのでご参考にして下さい。
・七五三（帯直し）は暦の上では通常十一月十五日といわれますが、九月下旬から十二月中旬までの期間で来られる方が多いです。
御都合のよい時期にお越し下さい。それ以外の時期はお問合せ下さい。

令和六年節分祭 豪快な豆まき披露 横綱照ノ富士・尊富士(優勝)参列

令和六年二月三日出雲大社相模分祠にて節分祭豆まき神事を斎行。
参加者三千人以上、伊勢ヶ濱部屋力士 十七名が参列
・伊勢ヶ濱親方(元横綱旭富士)
・楯山親方(元 誉富士関)
・横綱照ノ富士
・熱海富士関・翠富士関・宝富士関・錦富士関・尊富士関
付き人八名 呼び出し一名



当日は十四時三十分から分祠長齋主のもと殿内で神事が行われ、引き続き境内にて盛大に豆まき開催。
豆まきは予約不要・一般参加可能・無料で行い、合計七千個の福豆を準備。おすもうさんはじめ約百人の豆まき・まき手と約三〇〇〇人の来場者が豆まきに参加。事故防止のため、おすま・お年寄りには手渡しで行いました。
引き続き、やぐらの上から景気よく福は内の掛け声で豆まきをはじめました。
参加者はお相撲さんの大きな身体を間近に見ることができ、また参拝者の多さと迫力に圧倒されていました。豆まき会場には二〇〇〜三〇〇人入り、入りきれない参加者のため十五回ほどに分けて順番に豆まきを行いました。たいへん縁起がいい福豆を参加者全員がうけて笑顔で帰られました。
参加力士は節分祭で必勝祈願の祈念をして御札をうけられ参列しました。

コロナ禍の自粛のため照ノ富士は大関以来、横綱になって初めての参拝となりました。
角界力士関取四十二人、十両二十八人の役力士うち、横綱はじめ十分の一が当分祠の本年の豆まきに一度に参加しており、全国で一番お相撲さんが集まった節分祭といえます。横綱照ノ富士は令和六年一月場所優勝。尊富士関も本年一月場所十両優勝。熱海富士は令和五年の優勝決定戦にも残り、角界話題の実力派のお相撲さんが一堂に参加した大変豪華な豆まきとなりました。

祝 二〇年ぶり 新入幕優勝 尊富士関

節分祭を終えて、三月大相撲春場所で尊富士関が本場所優勝を成し遂げました。新入幕力士が優勝するのは、一一〇年ぶりともなる快挙。尊富士関は前日の取組で足首を負傷して救急車で病院に搬送されましたが、千秋楽も気力で出場し、平幕の豪ノ山と対戦、最後は押し倒して勝つて、十三勝二敗とし、初優勝を決めました。尊富士関は伊勢ヶ濱親方と同じく青森県出身の二十四歳。スピードあふれる立ち合いからの押しや四つが持ち味で、日大卒業後伊勢ヶ濱部屋に入門、わずか九場所新入幕したスピード出世の実力派。今後が期待されます。



相撲力士が四股(シコ)を踏むことにより大地を踏みつけ邪気を鎮める魔除け厄除けをするという意味も込められており、お相撲さんによる当分祠の豆まき神事は三十年以上続く恒例行事です。

※今回、本格的な動画撮影を行い、参加していない人にも雰囲気を感じられるように編集して完成した動画を当分祠公式サイトで放映中です。



季節の行事を楽しむ 第3回出雲大社相模分祠 写真コンテスト開催



第2回写真コンテスト
写真部門大賞
林絵美様

当分祠をテーマとした様々な写真を広く募集する「第3回出雲大社相模分祠 写真コンテスト」開催
応募締め切り
令和六年七月二十日
参加無料 一人3点迄
●一般写真部門・・・応募票に必要事項を明記し、応募写真の裏にテープで貼り付け、授与所に直接お渡しするか、郵送で応募下さい。
●SNS写真部門・・・Instagramで投稿して下さい。
#出雲大社相模分祠写真コンテスト
各部門 大賞(二万円)
優秀賞(一万円)
入選(景品)
八月に隣接出雲記念館で「第3回出雲大社相模分祠 写真展」を開催。
受賞作は出雲記念館で展示・ポスター・社報で使用・掲載。
応募作品の返却不可。サイズ・条件等詳細公式サイト・パンフレットを要確認。



第2回写真コンテスト
インスタ部門大賞
green_peas様



第2回写真コンテスト
写真部門優秀賞
栗原正行様



第2回写真コンテスト
インスタ部門優秀賞
tag.coo様



第2回写真コンテスト
風景部門優秀賞
押野 正様



第2回写真コンテスト
インスタ部門入選
happy81_n様



第2回写真コンテスト
写真部門優秀賞
國嶋英次様



第2回写真コンテスト
写真部門優秀賞
藤澤政義様



第2回写真コンテスト
風景部門大賞
深澤優子様

郵送祈祷申込記入表の書き方

①ご希望の祈願内容の下に神札に記入する名義（ふりがな）をご記入下さい。会社の場合は会社名にてご記入願います。ご記入頂いたお名前前で神札にお書きします。

例 株式会社いずも 等

②祈願一件につきそれぞれ玉串料をご用意願います。御祈願ごとに神札をご用意します。

③下記の申込み書を切り取り、同封の返信封筒に入れて、ご送付願います。次に裏面の郵便払込取扱票に必要事項を記入し、ゆうちょ銀行・郵便局でご送金願います。入金が確認できましたら随時神札を発送します。

※年末年始・お盆期間土日祝日等ゆうちょ銀行が定休日の日に入金された場合、翌営業日まで確認できませんので送金に関するお電話による御問合せ等ご対応ができません。ご容赦ください。

④大祓の郵送でのお申込みの際も同様にご利用頂きます。

※祈祷申込表の記入例※

祈願内容	祈禱料	祈願内容	祈禱料
家内安全	5000円	社運隆昌	7000円
交通安全	7000円	神恩感謝	10000円
縁むすび	10000円	身体健全	10000円
八方除	10000円	心願成就	10000円
厄除前・本・後・諸	10000円	学業成就	10000円
事業成功	10000円	その他	10000円
事業繁栄	10000円		
商売繁盛	10000円		
合 格			

記入表に記入した祈祷件数と金額の記入を裏面の合計表に記入願います

祈願内容	祈禱料	祈願内容	祈禱料
家内安全		社運隆昌	
交通安全		神恩感謝	
縁むすび		身体健全	
八方除		心願成就	
厄除前・本・後・諸		障除	
商売繁盛		安産	
事業繁栄		開運	
事業成功		学業成就	
合 格		その他	

記入表に記入した祈祷件数と金額の記入を裏面の合計表に記入願います

郵送祈祷申込記入表

この用紙は郵送祈祷専用紙です

◇祈願料 五千円・七千円・一万円・二万円・三万円 御札の大きさが異なります。

令和六年 第三回

出雲大社相模分祠

写真コンテスト

令和六年八月一日～末日まで隣接出雲記念館で「第三回 出雲大社相模分祠写真展」開催

当分祠をテーマとした様々な写真を募集する「第三回 出雲大社相模分祠写真コンテスト」開催

写真部門

応募票に必要事項を明記し、A4サイズの応募作品の裏にテープで貼り付け、授与所に直接お渡しするか、郵送で応募下さい。

SNS部門

インスタグラムで投稿して下さい。#出雲大社相模分祠写真コンテスト

各部門毎の表彰

大賞 (二万円)
優秀賞 (一万円)
入選 (景品)

応募締め切り

令和六年七月二十日
参加無料 一人三点迄

受賞作は出雲記念館で展示・ポスター・社報で使用・掲載

◎条件など、詳細は公式サイト・パンフレットを要確認。

出雲大社相模分祠写真コンテスト応募票 (一般部門)

ふりがな _____

題 名 _____

撮影年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

ふりがな _____

氏 名 _____

住 所 (〒 _____) _____

電話番号 (携帯番号) _____

メールアドレス _____

●応募票は各写真裏面に貼り付けて下さい

切りとり線

地鎮祭のご用命は

— 出雲大社相模分祠へ —

地鎮祭とは、家づくり・土木・建築等の起工にあたり土地の神様に奉告し、工事の安全と順調な竣工を祈願する祭儀です。出雲大社相模分祠の御祭神は、日本の大地を主宰する大地主大神様とも讃えられる土地鎮めの神様でもございます。当社では『関東のいずもさん』として神奈川県全域に赴きまして、地鎮祭・入居家祓・取壊家祓・上棟祭・井戸祓等の出張祭典を受け賜っております。その施工数は年間一二〇〇件以上に昇り、全国最大級の規模です。これまでに五万世帯以上の幸せな家づくりをお祈りしてきた伝統と実績がございます。新築・改築・お引越越しのお被いは、出雲大社相模分祠へ。家相のご相談も承ります。

〇四六三(八一)一一二二

地鎮祭(出張祭典) 玉串料 一、三五〇〇円

(祭壇準備・祈禱料・交通費含)

神社準備物

祭壇・竹飾り・神饌・神
(お施主様に準備のご負担をおかけしません)

所用時間 約一時間(準備 三十分)

出張可能地域
神奈川県全域・町田市・御殿場付近・熱海

右以外の遠方地域はお車代を頂戴致します。



郵便局からお振込み方法の案内

《お振込み票の書き方》

(払込取扱票)

- ①お振込み分の金額(玉串料)を『払込取扱票』**a**』及び『払込票兼受領証』**b**』の金額欄にご記入下さい。
- ②『払込人住所氏名』**c**』欄には郵便番号・住所・氏名をはっきりと楷書でご記入下さい。(授与品の発送先になります。)
- ③『御依頼人』**d**』には氏名のみご記入下さい。

尚、金額は一例であり、祈願の内容に応じて、お納め下さい。

ゆうちょ銀行
店名 当座【029店】(ゼロニーキュー店)
払込票宛先
口座記号 口座番号
00220-7-37940
加入者名 宗教法人出雲大社相模分祠

「夏越の大祓 授与品」



◆茅の輪飾り ◆御神札
玄関・神棚等にお祀りして下さい
◆出雲そば

※ゆうちょ銀行郵便局に口座がなくても、ご利用頂けます。(手数料神社負担)

《払込取扱票の使い方》

払込取扱票と送金額の料金を添えて、ゆうちょ銀行・郵便局にある払込機能付きATMか、ゆうちょ銀行郵便局の貯金窓口にてお支払いができます。

■ゆうちょATMでの通常払込の操作手順

- 1、画面の「ご送金」を押す
- 2、画面の「払込書でのご送金」を押す
- 3、払込書を挿入する
(通帳入口の上)
- 4、ご依頼人の確認
- 5、振込先口座番号の確認
- 6、金額の確認
- 7、お支払方法の確認
(「現金」を押す)
- 8、現金(紙幣と硬貨)の投入
- 9、お釣りと控えを取る

※払込票紛失の際はゆうちょ銀行郵便局の窓口にごさいます。
(但し、払込手数料払込人負担)

※玉串料お振込み記入例※

おなまえをはっきりとご記入下さい。

◎夏越の大祓のご案内

六月の晦日、恒例の夏越の大祓(おおはらえ) 神事を斎行します。

斎行日 六月二十三日(日) 午後三時
六月三十日(日) 午後六時
七月 七日(日) 午後四時

玉串料 三〇〇〇円(一世帯)
授与品 茅の輪・撤下錢

(ご来社が叶わない方へ)

郵送でのお申込みの際は下記の申込票のご利用願います。郵便振替ご利用の方には、ご入金を確認した後、郵送にて授与品を発送します。 ※送料千円のご負担をお願いします。

(代金引換対応のご案内)

大祓・郵送祈禱の初穂料の代金引換郵送に対応致します。御希望の方は、「郵送祈禱」申込表、左のチェック欄の「代引希望」にチェックをして下さい。「代引希望」にチェック頂きました場合、初穂料の振込は不要です。配達郵便局員の方に初穂料をお渡し下さい。尚、日時指定はできませんので予めご了承ください。

(不在の場合、不在票が投函されますので郵便局へご連絡ください。)

※郵便振替・代金引換の送料は左記の通り。

大祓のみ 千円(一律)
郵送祈禱のみ 千円(一律)
大祓・郵送祈禱の両方 千円(一律)

大祓・郵送祈禱郵送申込書

この用紙は郵送祈禱専用紙です

ふりがな	(〒	〒
發送先	住	所
氏名	發送先	ふりがな
電話番号	()	—
メールアドレス	@	
いずれかに <input checked="" type="checkbox"/> して下さい		
代引き希望 <input type="checkbox"/>	郵便振替希望 <input type="checkbox"/>	
備考欄		

通信欄

裏面の記入表の祈禱件数と金額の記入をお願い致します。

大 祓	件	円
郵送祈禱	件	円
送 料	1,000	円
合 計		円

—受付備考欄—	この欄には記入しないで下さい	受付
祈禱料振込み		
神札郵送		

切りとり線